広報 Tanko is a public information magazine.

安心のネットワーク NOSAI

たんこう

2011
11月
No.92

主な内容

NOSAI胆江 少年野球大会開催
シーズンオフの農機具の保管と手入れ

園芸施設（ハウス）共済

冬将軍！強風や大雪への備えは万全ですか？

日頃から災害に備えましょう！

❶ ビニールが雪の重みでたるんで滑りおちにくくなるので雪降ろしを行う
❷ 隣の棟との通路に積もった雪を取り除く
❸ 強風によるあおられ防止のため取付金属の締め直し
　妻面の補強をし、筋かい、補強支柱などを準備しておく
❹ 強風の後は、ゆるみ破損などを点検し速やかに補修する
❺ **万が一に備え園芸施設共済へ加入**

補償期間は

被覆（栽培）する期間に応じて
2ヶ月から12ヶ月まで加入できます

補償額は

施設本体、附帯施設とも時価補償額になります

パイプハウス・附帯施設の時価現存率					
1年未満	1年以上2年未満	2年以上3年未満	3年以上4年未満	4年以上5年未満	5年以上
100%	84%	68%	52%	36%	20%

ビニールの被覆経過割合					
	1年未満	1年以上2年未満	2年以上3年未満	3年以上4年未満	4年以上
一般軟質	100%	50%	25%		
耐久性軟質	100%	71%	50%	35%	25%

対象となる災害

●風害

●雪害

●火災

●ひょう害

●鳥獣害

●破裂、爆発
●車両の衝突
●その他
　自然災害

（時価額の1割以上の損害または3万円以上より支払われます）

掛金は掛け捨てではありません

3年間継続加入で、無事故または被害が少なかった方に対して3ヶ年分の掛金総額（純掛金）の2分の1を限度として、無事戻し金が支払われます。

加入者の方へ、被害発生時にはすぐTELを！

●ご加入されたハウスに被害が発生した場合（多少に関わらず）には、損害評価が必要となりますので、速やかにご連絡ください。

●被害発生の連絡がなく修復等された場合や、被害報告が遅れた場合、共済金の支払いができない場合がございます。

詳しくは果樹園芸課　TEL25−6884　まで

園芸施設共済始期統一の導入

平成25年度から事務の効率化等を図るため、共済責任開始期間（月3～4回）の始期統一を行う予定です。

今後、総代会での議決を経て県の承認後の実施となります。会議や広報紙等でお知らせいたしますので、ご理解ご協力をお願いいたします。

共済加入で安心を！！

補償期間内であれば全損になるまで何回でも補償します！

※1回の事故ごとに修復したものに限ります

シーズンオフの農機具の保管と手入れ

及川 章さん

今シーズンの農作業も終盤を迎え、頑張った我が家の農機具が休眠する季節となりました。そこで、冬期間へ向けての農機具（主にトラクターやバインダー、コンバインなど）の保管方法とメンテナンスを、奥州市江刺区田原のアグリメンテナンス代表及川章さん（61）に聞きました。真冬の前にしっかりメンテナンスを行い、来シーズンの故障や事故を減らして、快適な農作業を行いましょう。

❶一番のポイントは雨風に当たらない、乾燥した場所に保管すること。機械小屋など屋根の下がベスト。一番良くないのは野ざらし状態でシートをかけ保管すること。シート内に湿気がこもり、外観はもとより機械内部まで腐食する恐れがある。また、近年の農機具はマイコン内蔵のため、電気関連も湿気に注意を払う必要がある。

❷ガソリンエンジンに関しては燃料タンクを一杯にするか、空にすること。また、コックを閉め、エンジンを始動してキャブレターの燃料を使い切ること。キャブレターのガソリンが揮発したあとの残滓（ざんし）が来年の始動の際、故障を生じる。春先における農機具の故障の90パーセント近くがこの原因によるもの。

❸できれば、シーズンオフにオイル交換を行う。使ったままのオイルで一冬放置すると不純物が沈殿し故障の原因となる。

❹農機具の洗浄は大切なことだが、電装品やワイヤー部分の根元から水が入らないように注意する。水が入りワイヤーが作動しなくなる場合がある。

❺注油は冬の保管前に行うこと。油がなじむまで時間がかかるので、春に注油しても効果は薄い。洗浄し乾燥させた後に行うこと。

❻冬季に農機具を使用する場合、特にディーゼルエンジンは夏用と冬用で軽油の質が異なる。夏用を冬に使用するとエンジンが始動しない故障が発生する。冬用を夏に使うのはかまわない。

❼冬季のバッテリーは充電して外しておくのがベスト。そのまま接続しておくと放電する可能性がある。

❽設置型の調整機などでネズミによる回線切断が発生する場合がある。市販の対策品を活用するほかは、明るい場所に置き、カバーを徹底するなどする。

自宅の農機具の保管と手入れを十分行い大切に使用しましょう

農機具の手入れ方法は色々な方法があります。取扱説明書を十分確認して各自工夫してください

※ご注意

- 農機具共済は、共済目的に存在する欠陥、磨滅、腐食、さび、その他自然消耗の損害、消耗部品の損害による波及損害に対しては共済金のお支払いはできません。
- 日常の点検整備不良、管理不良による損害は共済金をお支払いできません。

農機具共済については建物農機具課　TEL25-6884まで

冬に備えて…
哺乳子牛の衛生・防寒対策

ニコニコ診療所だより 70

NOSAI獣医師におまかせ!

日増しに寒さがつのる今日この頃です。冬に備え、哺乳子牛の衛生・防寒対策についてチェックしましょう。全部で13項目あります。あてはまるものに○をつけてみましょう。皆さんはいくつあてはまるでしょうか？

家畜診療所　家畜診療課
係長
石母田英明

- □ **分娩前に白痢の予防注射をしている** →ワクチンによる予防は強い味方です
- □ **子牛が生れたら臍の消毒をしている** →臍帯炎を予防しましょう
- □ **生れた子牛が初乳を飲むのをいつも確認している** →生後6時間以内に2リットル必要です
- □ **いざというときのために凍結初乳や粉末初乳を準備している**
  →虚弱子牛や母牛の授乳拒否に備えて用意しましょう
- □ **保温ベストやネックウォーマーなど使い保温に努めている**
  →子牛にとって13.0～25.0℃が適温。5℃以下で発育が停滞します
- □ **遠赤外線ヒーターやハロゲンランプなどを常備し子牛を温めている**
  →出生直後の子牛や下痢、カゼをひいている子牛は体温低下が起こりやすく保温が必要です
- □ **子牛の寝床は乾燥し、敷料がたっぷりと入っている**
  →濡れていると体熱が奪われやすい。こまめな敷料交換やお風呂マットの活用も有効
- □ **ハッチやシートを活用し隙間風が直接当たらないようにしている**
  →隙間風は体に直接当たると体感温度が低下（風速1m/sで4℃）します
- □ **モミ粉砕や細かいオガコの使用は、ホコリがたちやすいので注意している**
  →子牛の気管に吸い込まれ、肺炎の原因となります
- □ **時間を決めて換気をしている** →新鮮な空気を牛舎内に取り入れましょう
- □ **牛舎内は目がチカチカしたり、鼻がツンとするような刺激臭（アンモニア臭）がない**
  →牛床にかがみこんで子牛の頭の高さで確かめてみましょう
- □ **牛舎は過密にならないようにしている** →ギュウギュウづめの牛舎は子牛にとってストレスです
- □ **定期的に消毒をしている** →牛舎内の病原体（細菌やウイルス）を低減しましょう

全部○だった方 おめでとうございます
あなたは子牛育成のプロです!! 適切な対策でこの冬を乗り越えましょう!!

家畜診療所 最新の研究成果

家畜診療所では、日々の診療業務のほか、獣医師として必要な技能を向上させるため、学術的な研究も行っています。最近の研究成果からその一部を紹介いたします。皆様の参考になれば幸いです。

ベータカロテンは足りていますか?

家畜診療所
所長
森田　靖

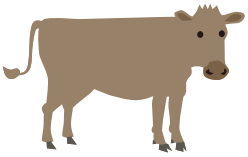
ベータカロテンは、私たちの食べ物の中ではニンジンやかぼちゃ等の緑黄色野菜に多く含まれていますが、牛にとっては牧草の葉の部分が一番で乾草やラップサイレージに調整すると大幅に減少してしまいます。

ベータカロテンは内臓では、小腸・子宮・卵巣に多く分布、ビタミンAの前駆物質（プロビタミンA）として存在、その臓器に働いて消費され、余ったものはビタミンAに変換され別の働きをします。

卵巣にできる黄体は、ベータカロテンそのものですので発情に深く関係しています。また抗酸化作用があり免疫力を高めて病気に対する抵抗力が強くなり、健康を保つうえでは必要不可欠な物質です。数年前から使用している方の感想は、「発情が判るようになった」「受胎率が向上した」「親牛に給与している期間で子牛の下痢が減った」等がありました。（本内容は、北海道家畜研究センターの試験結果を基に実証したものです）

製品として、液体・粉状・固形（ペレット）など様々ありますので、詳しくは農協の資材センターや薬の販売店にお尋ねください。

白痢の子牛への抗菌剤使用に関する得失



家畜診療所家畜診療課
技術副主査
懸田　和子

子牛において下痢症の発生は非常に多く、現場の臨床獣医師にとって診療の中で大きな比重を占めています。下痢の原因は様々ですが、その原因に関係なく、治療は抗菌剤の使用が中心になっています。

そこで、白痢の子牛へ抗菌剤を投与するとどんな影響があるのか知るために、血中に産生される毒素（エンドトキシン）と、糞便中の細菌の変化の状態を調べました。その結果、感染性腸炎でない子牛に抗菌剤を投与すると、子牛にとって有害な毒素が産生されたり、お腹の中の善玉菌が減少したりして、良くないことがわかってきました。

最近の白痢は大腸菌などの感染性腸炎よりも、母乳の消化不良による母乳性下痢が多く見られるようになってきています。治療には感染性腸炎かどうかきちんと診断した上で抗菌剤を使用することが大切です。感染性でも非感染性でも補液は大変治療効果があります。子牛の白痢の予防には、農家の方は衛生管理を行うとともに、良質な母乳のための母牛の栄養管理が、重要であると思われます。

（本内容は、平成23年度 全国家畜診療技術講習会に於いて発表するものです）

第8回

NOSAI胆江 少年野球大会

チャンスを狙う！

ストライク?ボール?

渾身の一球！

どっちが先か?

白熱の全7試合

秋晴れの決戦！

9月23日（金）、水沢サンスポーツランド野球場（水沢区真城）にて、「第8回NOSAI胆江少年野球大会」を開催しました。

この大会は、未来を担う少年たちの健やかな成長と、野球というチームワークを尊重するスポーツを通じて、友を思いやる心を育み規律を尊び、秩序を守る生活態度や習慣を養うことを目的に、今年で8回目をむかえました。

大会は、胆江地区内から選抜された8チームによるトーナメント方式で行われました。多くの応援団が詰め掛ける中、子供たちは白球を追いかけ、ファインプレーを繰り広げました。激戦の結果、水沢区の水沢南少年野球団が優勝しました。

10月22日（土）にはこの大会で準優勝した太陽の子スポーツ少年団（金ケ崎町）とともにNOSAI東南部の2チームの計4チームでの親善大会を水沢サンスポーツランド野球場で行いました。大会では健闘むなしく水沢南少年野球団（大船渡市）に3―9で敗れ、準優勝に終わりました。

始球式に臨んだ菊地組合長（往年の野球少年）

選手宣誓を行った高橋優斗君（ISAWAオールスターズ）

優秀選手・髙 彩菜さん（太陽の子スポーツ少年団）／最優秀選手・菅原 悠人君（水沢南少年野球団）

水沢南少年野球団（水沢区）

太陽の子スポーツ少年団（金ケ崎町）

応援団も盛り上がる!!

芋の子汁、きなこ餅がふるまわれた

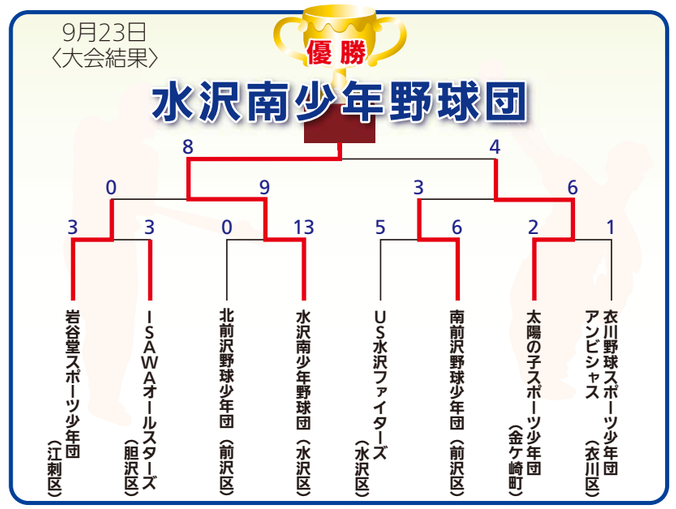
10月22日　交流戦の結果

優勝	末崎野球スポーツ少年団（大船渡市）
準優勝	水沢南少年野球団（奥州市）
3位	太陽の子スポーツ少年団（金ケ崎町）
4位	吉里吉里野球スポーツ少年団（大槌町）

最優秀選手　濱守 海斗君（末崎野球スポーツ少年団）
優 秀 選 手　菅原 悠人君（水沢南少年野球団）

被災地の子供達も元気に参加

9月23日
〈大会結果〉



※岩谷堂スポーツ少年団とISAWAオールスターズ戦は同点のため、抽選で決定

レッツゴー ノーサイくん

おえかきだいすき

みんななかよし！

あたしたちのおうち！

ゆ〜ら、ゆ〜ら、いいきもち！

ちょとこわい、かも？

奥州市立 羽田幼稚園

住所:奥州市水沢区羽田町字並柳
園長:及川　祥一さん
園児:35名

10月24日 ノーサイくん日記

きょうはおそとであそんだよ。みんなげんきいっぱいにあそんでいたね。ひさしぶりに、ジャングルジムにのぼったけど、「ノーサイくん、だいじょうぶ??おりれる？」ってしんぱいしてくれたおともだちがいたね。これくらいへっちゃらだけど、うれしかったよ。じゃあまたあそびにいくね！またねぇ〜。

nosaitanko 2011_11

ノーサイくんも たいこにちょうせん！

ちょっとこわいかな？

なかよくジャンケン

きまったね！

しんけんなかおです

奥州市立 前沢東幼稚園

住所:奥州市前沢区生母字羽場
園長:髙橋　喜久子さん
園児:26名

10月19日 ノーサイくん日記

きょうはおうちのなかであそんだよ。ようちえんができて30ねんになるんだって！おいわいのおまつりがあるから、みんなでたいこをたたくの？？へー、すごいな。みんなじょうずだね。え、ボクもやってみるの？？…みんなみたいにじょうずにはできなかったよ。こんどはれんしゅうしてくるからね。またねぇ〜。

第45回●農業高校通信

水沢農業高校

シリーズ

21世紀を担う若い力

Young power to bear the 21st century

子ども達の乗馬体験の様子（乗馬帽が重そうです）

遠足に子ども達が来校

今年も地域の幼稚園・保育園、小学生が水沢農業高等学校へ遠足等で来校しています。

4月28日に奥州市立常盤小学校2年生が来校して以来、10月15日現在16校（園）約700人の子ども達が来校しました。

子ども達は本校の広大なキャンパスを元気に駆け回り、農業体験をしてもらっています。具体的には野菜（ミニトマト等）の定植体験、草花の定植体験、野菜（トマト、キュウリ等）や果樹（リンゴ）の収穫体験、馬の観察やエサやりなどです。

生徒達も体験の「案内役」として活躍しています。「教わる」立場から「教える」立場となり緊張の連続です。さらに、子ども達の「安全」を考えながらの活動。この「案内役」で生徒達も一段成長します。

学生は真剣に農業実習に取組んでいます

農家派遣実習

水沢農業高等学校では、2年生でインターンシップを実施しています。各科ごとに企業等で研修を行っております。その中でも農業科学科は農家にて実習を行っています。10月4日～10月6日まで3日間、奥州市内の農家に2～4名ずつで実習を行いました。生徒は学校とは違う環境で緊張の毎日です。「農業のプロ」から教わる技術に驚き、社会人としてのマナーを学び、農業の厳しさだけでなく楽しさを感じる3日間でした。派遣先の農家の皆様お忙しい中ありがとうございました。

★生産現場のアイデアを満載
★丁寧なNOSAI制度の説明
★分かりやすい農政解説
★身近な話題がいっぱいの岩手版

農業共済新聞の申込は

胆江地域農業共済組合（NOSAI胆江）普及情報課（25-6631）まで

購読料は毎月420円・年間5,040円のところ、毎月100円を補助!

年間なんと3,840円でご購読いただけます（週刊）

農の営み

野菜を被災地へ 地元企業と 地区住民が協力

姉体・殿野起（とのや ぎ）集落の皆さん

収穫まで野菜栽培に協力してきた地域のみなさん
左端が菊地信夫さん（8月26日）

野菜を送って被災地を支援しようと、水沢区姉体町の殿野起集落では、休耕地を耕してサトイモなどを栽培。沿岸部の方へ届ける活動を始めた。

これは市内の東亜リース株式会社社長・菊地信夫さん（61）の呼びかけによって始まった活動で、菊地さん方の休耕地10aで、5月末から地域住民の協力を受けて栽培管理を続けてきた。

菊地さんの経営する会社では、建設機械などの重機を取り扱っており、阪神・淡路大震災や新潟県中越地震の被災地で仕事を請け負ってきた。その経験を生かし、東日本大震災でも復興に協力している。

菊地さんは「被災地で必要としているものを考えたとき、自宅裏の休耕地を思い出した。以前は農業をしていて、野菜栽培の経験もあることから、野菜を作って届けたいと思った」と話す。

作付け当初は、雨が降らず、水不足が心配されたが、その後は順調に生育し、10月22日に収穫を行った。

この日は、「TOA勝手に食わせ隊」として同社の社員と、今まで農地を管理してきた殿野起集落の住民の協力で、沿岸の大槌、陸前高田から仮設住宅などで生活している被災者約30名を招待。収穫体験と、同圃場で取れたばかりの芋の子を使った芋の子汁を振る舞った。ほかにも、今年の新米や焼き芋なども提供され参加者は「こんなに美味しいのは久しぶり」と大変喜んでいた。

なお、この経験を生かし「TOA勝手に食わせ隊」を各地で実行したいと意気込んでいる。

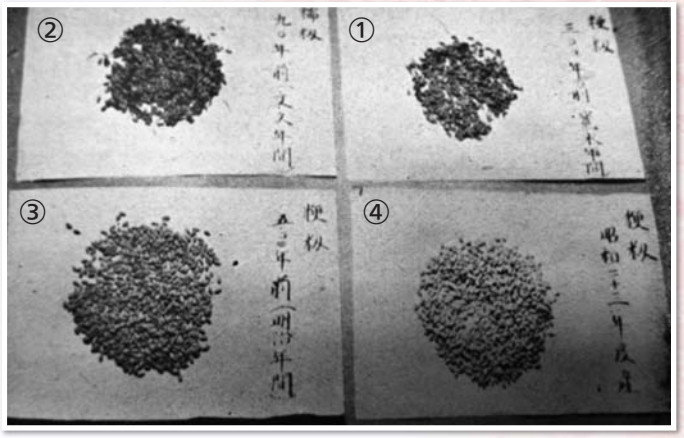
菊地さんは「大震災を経験して、何かできることはないかと考えている人は、たくさんいると思うが、1人で実行するのは難しい。地域のみんなで力を合わせて、継続的に被災地を応援することができれば良いですね」と話している。

サツマイモこんなに沢山とれました

芋の子汁と新米のおにぎりの振る舞いに「新米なんてすごいね!!」と笑顔もこぼれる

第12回

古老に聴く！



凶作に備え古い籾を保存している例
①寛永年間（1624～45年）、②文久年間（1861～64年）、③明治時代（1900年ころ）、④昭和23年産（1948年）（「岩手の農業の歴史」昭和24年刊より）

衣川区

千葉馬之亟さん(93)

地元の発展を何より実感しています

―と話す

千葉馬之亟さんは、衣川村有浦地区に生まれ育ちました。千葉さん宅は「大家」と言われ、12代前から続く古い家柄ですが、水田面積は40a程しかなく、小作農家として、地主から20aの土地を借りて水田を営んでいました。当時の小作料は取高で約50～70%に達し、昭和11年に結婚した奥さんを入れて8人の家族を養うには、食べる米すら不足する状況でした。

そこで有浦地区の住民は国有林の一部を払い下げてもらい、切り倒した生木を細かく割り、松の根を燃料に1日で灰にし、俵につめて一関の染物屋に売って現金収入を得ていました。灰は染物の触媒になるからです。この貴重な収入で米を買い、不足を補ったそうです。千葉さんが昭和13年に徴兵されるまで灰作りは続けられていました。

「衣川村は東西で農業環境がまるっきり異なり、貧富の差が大きいところだった」と千葉さん。

昭和9年の大冷害では自宅前8aの水田から収穫できた籾は1升枡で1つも無いという悲惨な状況に。住民が地主さんにお願いして、非常用の米を出してもらい、飢えを凌ぎました。当時の庄屋では飢饉に備え何十年も余った米を蓄えておく習慣があったそうです。「今は農業共済制度があるから大丈夫だが、当時、村や県からの個別援助の記憶は無い」とのこと。

千葉さんは、昭和13年に徴兵され満州在留の歩兵第三十一聯隊に配属されましたが、15年に、風土病を理由に現役免除となり、一関で1年間の療養を余儀なくされました。

まさか召集は来るまいと思っていた昭和17年4月に赤紙で召集され中国・山西省の最前線へ。山西は地元軍閥の閻錫山将軍が親日家で、地元民は日本軍に友好的でした。しかし、蒋介石（国民党）や毛沢東（共産党）の軍隊と激戦が繰り広げられました。この間、戦傷を負って昏倒したところ親切な中国の農民に助けられるなど2度も命拾いをしたそうです。この時受けた銃弾の傷は今も頭部に残ります。

昭和20年8月、千葉さんらは、約1カ月、終戦を知らずに戦っていました。また、日本へ復員のはずが、山西の人々にお願いされ昭和21年4月まで〝日本軍〟として治安維持に務めました。

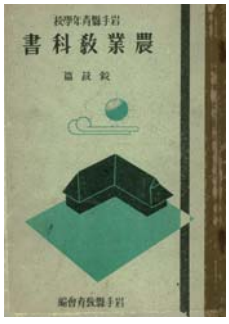
その後、戦犯を免れ、山西省大原に居た日本軍捕虜515名は、兵士の教育を依頼され、軍曹だった千葉さんは中尉待遇で丁重に扱われました。24年、国共内戦で山西軍が敗北すると今度は共産党軍の捕虜に。食事は朝夕の粟粥だけで、強制労働や厳しい思想教育などを体験しました。「今度ばかりは殺されると思った」そうです。

ようやく昭和29年に帰国。10月2日、13年もの空白を超え村に帰ると、父母の死を知りました。次の日は村人の歓迎会に臨み、翌日からは、千葉さんが居ない間に農業の先輩となった奥さんを先生に、もとの農民として働き続けました。

戦後しばらくして再び山西省に行くと、そこには戦前と変わらぬ貧しい農民生活があり、年老いた住民らは「あなた方が居た頃は良かった」と話してくれたそうです。

最後に、「人生いろいろあるが農業のやり方もいろいろある。地元の発展を何より実感しています」と話します。

戦前の絵本より　描かれているのは理想の農村風景であった



「岩手県青年学校　農業教科書　穀菽編」
岩手県教育会編（昭和12年刊）
記憶の生々しい昭和９年の冷害を振り返り、再度、災害が来ようとも「断じて悲鳴を上げぬ覚悟を持たねばならぬ」と序文にある

胆江地方の農村文化

えさし郷土文化館　学芸員　野坂晃平

第4回 お〜い!!船方さん —北上川舟運と胆江地方—

江戸幕府の鎖国政策は大型船の建造を制限したため、日本の舟航は国内の沿岸航路および河川舟運を発達させてきました。北上川における航行・舟運は、すでに古代から利用されてきましたが、江戸時代には商品経済と物流の発展に伴い、仙台藩によって交通運輸が推進されます。

北上川は江戸時代以前までは追波川を下流としていましたが、仙台藩は巨額の工費と数十年におよぶ歳月を費やし、藩士の川村重吉（孫兵衛）に石巻を河口として開鑿させました。その結果、石巻は江戸や仙台に向けた物資の流通・集積の拠点となり、北上川流域における交易と舟運も隆盛を極めることとなりました。

石巻河口から黒沢尻（北上市）までの船舶は、大型（450俵積）・中型（350俵積）・小型（300俵積）の艀船が用いられ、黒沢尻以北は水勢により小型船以下の船でしか舟航できませんでした。また、仙台藩は相去から石巻までに51ヵ所の河岸（河港）を設け物資集散と中継ぎの基地としていました。

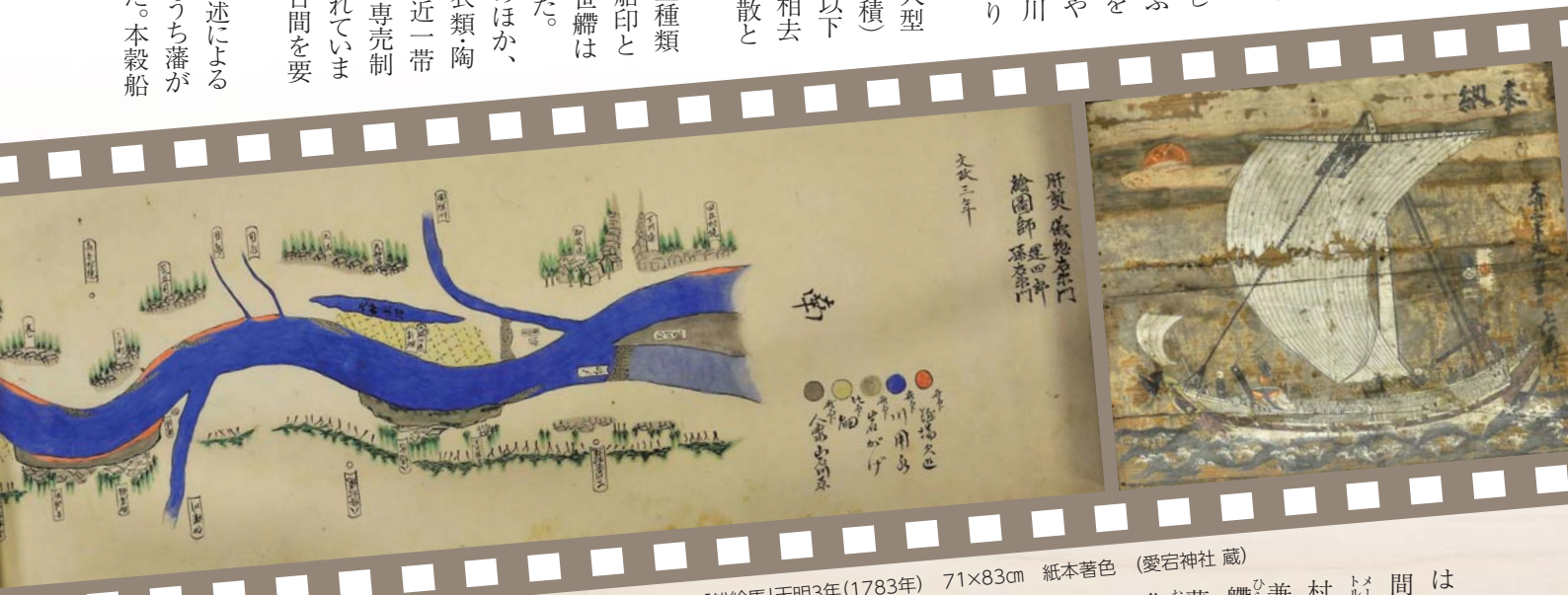
北上川を舟航した艀船には御石艀と渡世艀の二種類があり、御石艀は貢米・買米輸送の御用船で、御用船印として赤九曜紋の小旗が掲げられており、一方の渡世艀は民間の商船で、その舟航は課税対象にもなっていました。

胆江地方から石巻へと向かう川下品は米穀のほか、木材・桶・箪笥・和傘などで、遡上品は塩・木綿・古衣類・陶器・石材・塩魚などの海産物があり、特に藩が石巻付近一帯に設けた製塩場で作った塩は、仙台領内に割当てる専売制度を敷いており、官塩が艀船の帰船を利用して運ばれていました。なお、石巻までの行程は下り3日間、上り15日間を要していたといわれます。

『安永風土記』の高寺村（奥州市江刺区愛宕）の記述によると、高寺村の下川原河岸には32艘の船があり、そのうち藩が所有する御本穀船（年貢運搬船）は11艘ありました。本穀船は450俵（約27トン）積載で、船長が約10間（約18メートル）、幅2間半（約4メートル）、帆柱長7間（約12メートル）、帆は8反帆（約5.4×7.2メートル）で乗員は4〜5人。これらの船の管理と舟航の監督は黒石村（奥州市水沢区黒石）の大肝入の千葉家が代々艀肝入を兼務して行ってきました。天保5年（1834年）の『上川御穀艀御本帳』によれば、高寺村に9名の船頭がおり、御蔵場には藩米蔵8棟、塩蔵4棟、納米事務を司った米見所、御改所、御枡取職、御蔵場の管理をした蔵守屋敷などがありました。

胆江地方での艀船の舟航に伴う仙台藩の御蔵場は、高寺村の下川河岸のほか西根（金ケ崎町）、跡呂井（奥州市水沢区佐倉河）、六日入（奥州市前沢区白山）にあって、それぞれの地で発展してきましたが、明治維新を迎えると納税も物納から金納へと変わり、さらに明治23年（1890年）には東北本線の開通によって運輸機能も転換し、北上川舟運の時代は終焉を迎えました。

奥州市江刺区愛宕の愛宕神社には、北上川舟運の隆盛を物語る4面の船絵馬が残されています。船絵馬は危険の多い船旅に際して、船主、船頭水主らが舟航安全の祈願と、舟運を無事に終えた後の神仏への報謝として奉納したものです。長い北上川舟運時代において、時には暴風雨などに遭遇し、九死に一生を得て帰還した人々もいたことでしょう。いずれにしても、大穀倉地帯として名高い胆江地方の米穀輸送を一手に請け負う舟航の仕事は過酷であったに違いありません。



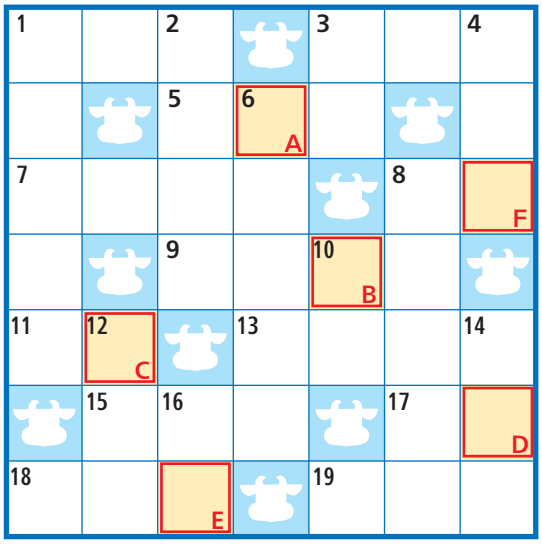
（左）「北上川 川筋図」文政3年（1820年）　紙本著色　（個人蔵）

（右）「船絵馬」天明3年（1783年）　71×83㎝　紙本著色　（愛宕神社 蔵）

「艀船の舵」江戸時代　150×230㎝　木造
（えさし郷土文化館 蔵）

あたまのたいそう

二重マスの文字をA～Fの順に並べてできる言葉は何でしょうか？



タテのカギ

1 源氏と平氏の最後の戦い　○○○○○の戦い
2 石を積み上げて作られた壁
3 非常に危険な瀬戸際　○○一髪
4 山や野に遊びに行くこと　「物見○○○」
6 天下分け目の○○○○○の戦い
8 買い言葉　⇔　○○○○○
10 ○○が働く
12 休むこと、休息
14 双子を表す英単語
16 よもぎをたっぷり入れて作ります「○○もち」

ヨコのカギ

1 解決の方法を見い出すこと。「難局を○○○する」
3 馬に乗る職業
5 歯の表面に沈着した歯垢が石灰化したもの
7 薬などの効能を書き記したもの
8 幸せなめぐりあわせ　幸○○
9 気になって心配すること
11 かみなりを伴って降る雨　○○雨
13 世の中の不正などに果敢に立ち向かうこと　○○○○精神
15 無法松の一生　「♪○○○生まれで玄海育ち」
17 わからない事をたずねて確かめること　○○合わせ
18 圧勝　○○○で勝つ
19 絵を書くとき台にする板

第91号の答え

前号このコーナーの答えは**「ユカタ」**でした。
応募総数はがき75通、Eメール9通、正解84通でした。
たくさんのご応募ありがとうございました。

応募方法

〒

- 官製ハガキに下記事項を記入の上、ご応募ください。
- 正解者から抽選で10名に図書カードをさしあげます。

締切：平成23年12月15日

❶〒 ❷住所 ❸氏名（フリガナ） ❹年齢 ❺性別 ❻答え ❼みなさんの声に「広報92号を読んだ感想」「NOSAIに対する質問」などご自由にお書きください。

50

0230023
水沢区字八反町52番地1
NOSAI胆江広報係

●当選者 は次の方々に決まりました

及川節子さん（水沢区）	菅原節子さん（水沢区）	及川貴志子さん（江刺区）	髙橋勝雄さん（江刺区）	亀井慶治さん（胆沢区）	渡辺泰親さん（前沢区）	小野寺千亜希さん（前沢区）	佐々木哲也さん（衣川区）	阿部佳子さん（金ケ崎町）	高橋アヤさん（金ケ崎町）

おめでとうございます

※「あたまのたいそう」等応募によって得られた個人情報は、クイズの賞品の抽選と今後の広報紙作成の参考意見として利用する以外、その他の目的に利用することはありません。

みなさんの声

〒ハガキ　✉Eメール

私にも言わせて　私にも教えて

ピクッ

甘 「タオル一本運動」の恩恵を受けています。施設で母が使うものに、私が持ち込んだ記憶の無いタオルに名前があり判りました。
（江刺区　菊池Rさん）
お役に立って何よりです。今年も行います。

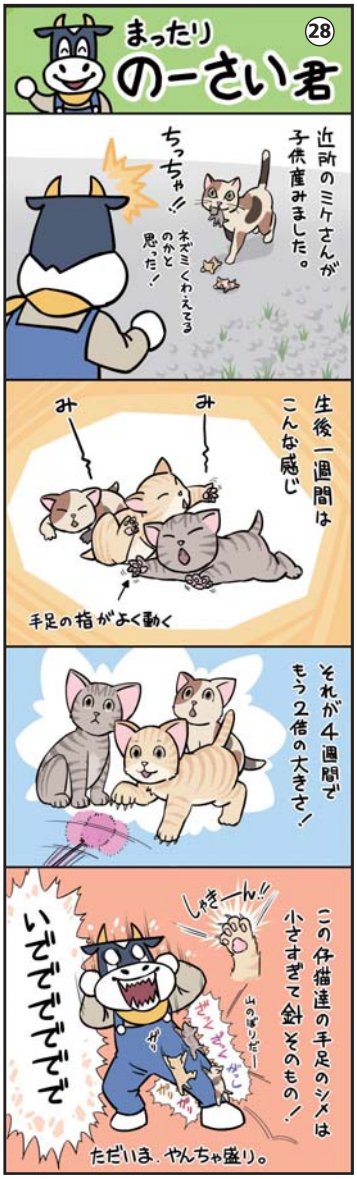
甘 昨年から草刈担当?です。みるとやるでは大違い。草集めより刈るほうが私は大好きです。気持ちいいです。
（胆沢区　小野Tさん）
田舎の生活の一部である草刈は、都会の方はわからないようですね。

甘 「青空組合長室」組合長さんの的を得た時事コメント。私の楽しみがまた一つ加わりました。茶のみ会などで引用させていただきます。
（前沢区　菅原Aさん）
組合長より「細かい部分まで読んでいただきありがとうございます」とのことです

甘 もうすぐ新米の時期なのに、古米が売れているみたいですね。私の家は稲作農家です。とても心配です。
（金ケ崎町　小沢Kさん）
一年かけての収穫ですから順調に売れる事を祈ります。

ごく一部です！

「あたまのたいそう」、「みなさんの声」で掲載された方には図書カードをさしあげます。
（NOSAIまたは広報紙「たんこう」から離れた話題も大歓迎です。Eメール（kouhou@nosai-tanko.or.jp）でも受付をしております。）



伝言板

NOSAI TANKO MESSAGE BOARD

建物・農機具の事故届は速やかに!

事故が発生したときは、速やかに連絡をお願いします。連絡が遅れたり、損害部分が確認できないと、共済金をお支払できない場合があります。

また、農機具の買い替え等があった場合も届出願います。

詳しくは建物農機具課 TEL25−6884 **まで**

野ネズミ駆除の実施

胆江広域病害虫防除協議会では、水田の野ネズミ駆除を実施します。この駆除で使用する薬剤はラテミンリン化亜鉛1%(大塚薬品)です。ペットなどが誤食しないよう十分注意してください。万が一、誤食した場合は速やかに吐き出させ、直ちに獣医師の手当てを受けて下さい。

実　施　日=平成23年11月23日(水)勤労感謝の日

実 施 場 所=胆江地域農業共済組合の水稲引受水田

問い合わせ=**胆江広域病害虫防除協議会**

事務局 (**胆江地域農業共済組合** **農産課** TEL25−6884**まで**)

書写コンクール・ぬりえコンクール・女性による作品展示会の作品展示のお知らせ

皆様よりご協力いただいております「県内・管内小学校・中学校書写コンクール」、「ぬりえコンクール」、「女性による作品展示会」の作品を展示します。たくさんの方のご来場をお待ちしております。

開　催　日=平成23年12月5日〜11日
(午前9時〜午後4時まで)

開 催 場 所=胆江地域農業共済組合　会議室

詳しくは普及情報課 TEL25−6884 **まで**

家畜の異動報告を忘れずに!!

飼養している家畜に譲渡・導入・出生があった場合、必ず異動報告をお願いします。報告が無く、事故が発生した場合、万が一のとき共済金の減額や、支払い対象にならない場合があります。

異動報告は、当組合が家畜共済加入者に配布した用紙に記入の上、提出していただくか、FAXまたはTELで報告をお願いします。また、獣医師が診療中の家畜を譲渡した場合も、すみやかに当組合と診療担当獣医師に連絡してください。

詳しくは家畜課 TEL25−6909　FAX22−3256 **まで**

平成23年度大豆共励会出品者

区	地区　集落名	氏　　名	品種名
水沢区	佐倉河　第4区	みつくら農事組合法人　代表理事組合長　小野寺徳巳	リュウホウ
	姉体　上野	姉体上野営農組合　組合長　遠藤拓男	リュウホウ
	姉体　吹張	農事組合法人 姉体営農生産組合　組合長　千葉榮	リュウホウ
	姉体　吹張	姉体南方営農組合　組合長　及川忠郎	リュウホウ
江刺区	田原　蒲道沢	農事組合法人 上小田代　代表理事　伊藤周治	リュウホウ
	田原　荒井坂	農事組合法人 アグリコーポ小田代　代表理事組合長　及川斌人	リュウホウ
	田原　蔵内	農事組合法人 原体ファーム　代表理事組合長　及川烈	リュウホウ
	田原　戸崎	土谷グリーンファーム　組合長　菊地尚	リュウホウ
	田原　御免	ニューアグリ土谷　組合長　小松與志夫	リュウホウ
	広瀬　宮田	農事組合法人 しかけ森ファーム　代表理事　菅野範正	リュウホウ
	稲瀬　大谷	大谷生産営農組合　組合長　廣野進	リュウホウ
	稲瀬　沼尻	下三照営農組合　組合長　安部彦二	リュウホウ
	稲瀬　照沢	照沢営農組合　組合長　高橋旺	リュウホウ
胆沢区	小山　中沢	中沢土地利用生産組合　組合長　芳賀幸夫	ナンブシロメ

口座振替の実施について

共済掛金納入・共済金支払などに関し、**岩手ふるさと農協、岩手江刺農協、ゆうちょ銀行(郵便局)、岩手銀行、北日本銀行、東北銀行、水沢信用金庫**の口座で取引ができるようになっております。

掛金納入等の口座振替の実施になお一層のご協力をお願いいたします。**詳しくは普及情報課** TEL25−6631 **まで**

手造りの味

～てづくりのあじ～

28

かぼちゃとピーマンとしめじのきんぴら

紹介者

胆沢区食生活改善
推進員協議会のみなさん

作り方

① かぼちゃ、ピーマン、しめじはそれぞれ5cm長さの棒切りにする。

② フライパンにオリーブ油を熱し、かぼちゃを炒める。少々炒めたら、ピーマンとしめじを加えてさらに炒める。

③ 火が通ったら、砂糖、しょうゆ、塩を加えて炒め、水分を飛ばす。

④ 器に盛り付け七味唐辛子を振る。

材料［4人分］

- かぼちゃ …… 70g
- ピーマン …… 60g
- しめじ …… 60g
- オリーブ油 …… 小さじ1
- 砂糖 …… 小さじ1
- しょうゆ …… 小さじ2
- 塩 …… 少々
- 七味唐辛子 …… 少々

田んぼアートの稲刈り、がんばったね！

表紙紹介

ドレミ保育園（水沢区） 佐々木 治紘くん（6）

10月23日、恒例の「田んぼアート」（水沢区佐倉河）の刈り取りが行われました。一般参加者に混じって、ドレミ保育園の園児父兄の有志も参加。今年は田植えも行ったとのことで、収穫の手ごたえを感じているようでした。鎌は危ないので園児たちは稲運びなどで大活躍。同園の佐々木治紘くんもぬかるみの中、一生懸命頑張っていました。

地域の話題 教えて下さい

広報（年6回）、農業共済新聞（月4回）で地域の話題を取り上げます。農業や地域の取組みなど、情報があれば普及情報課広報担当までお寄せ下さい。

TEL 25-6631

URL http://www.nosai-tanko.or.jp/
E-mail:kouhou@nosai-tanko.or.jp

編集後記

今回の「古老に聴く」千葉さんは、若いころのお写真が無いとの事で編集には工夫を要しましたが、それ以上に数奇な運命を辿られた、人生の軌跡は感動を禁じえませんでした。詳しく書くと更に3倍近くになります。全部ご紹介できないのが残念です。（北上川のたまちゃん）

■編集・発行／胆江地域農業共済組合 普及情報課
〒023-0023 岩手県奥州市水沢区字八反町52番地1
TEL.0197-25-6631 FAX.0197-22-3256
■印刷／六三ビジネスフォーム株式会社 ■発行／平成23年11月15日

GREEN PRINTING JPPI P-B10099 この印刷製品は、環境に配慮した資材と工場で製造されています。
VEGETABLE OIL INK
NOSAI胆江は環境保全に取り組んでいます
この広報紙は環境に配慮した資材と工場で製造され、〈水なし印刷〉〈植物油インキ〉による環境を考慮した紙面づくりをしています。
また、読みやすいユニバーサルデザイン文字を採用しています。